

2006年9月中間期 決算補足資料

- | | |
|------------------------|----------|
| 1. 決算概観 | p. 1 |
| 2. 損益計算書の概要 | p. 2～3 |
| 3. 貸借対照表の概要 | p. 4 |
| 4. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況 | p. 5 |
| 5. 主要製品売上の状況 | p. 6 |
| 6. 開発品一覧 | p. 7～9 |
| 7. 主な業績項目の推移 | p. 10 |
| 8. 杏林製薬単体資料 | p. 11～14 |
| 9. 参考資料: 主な子会社の業績と予想 | p. 15～16 |

2006年11月7日

株式会社キョーリン



2006年9月中間期 決算概観（連結）



06年9月中間期連結業績 売上では、国内新医薬品が順調に推移し、連結売上高は351億円（前年比4.7%増）となりました。利益面では、売上原価率は前年比7.2ポイント上昇しましたが、販管費率は研究開発費の減少に伴い5.5ポイント低下した結果、営業利益は19億円（前年比19.3%減）、純利益は8億円（前年比42.9%減）となりました。

07年3月期連結業績予想 売上では、新医薬品のうち国内は薬価改定の影響はあるものの前年を上回るものと予想しておりますが、海外は前年を大幅に下回る見込みです。新規事業（東洋ファルマー、ドクタープログラム）は業績が12ヶ月間フル寄与することから前年を上回る見込みです。その結果、連結売上高767億円（前年比3.6%増）を見込みます。利益面では連結営業利益63億円（前年比29.9%減）、連結当期純利益36億円（前年比31.1%減）を見込みます。なお、配当については1株につき年間20円（中間期10円）を予定しております。

単位： （百万円）	04年9月期	05年9月期	06年9月期	前年比	07年3月期 （予想）	前年比	07年3月期 （当初予想）
売上高	31,056	33,511	35,093	4.7%	76,700	3.6%	75,600
営業利益	1,595	2,406	1,940	▲19.3%	6,300	▲29.9%	5,700
経常利益	1,974	2,753	2,061	▲25.1%	6,700	▲29.2%	6,400
中間純利益	1,307	1,459	833	▲42.9%	3,600	▲31.1%	3,500
EPS	17.59円	19.65円	11.21円	▲43.0%	48.41円	—	47.07円
総資産	118,558	116,566	117,915	1.2%	—	—	—
純資産	91,460	91,483	94,993	—	—	—	—

* 05年9月中間期決算数値（連結）までは杏林製薬の数値、06年9月期業績及び07年3月期予想（連結）は株式会社キョーリンの数値を示す（以下の資料についても同様の数値を示す）

損益計算書の概要：連結 -



(単位:百万円)

	05年9月期		06年9月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	33,511	100.0%	35,093	100.0%	4.7%	1,582
新医薬品	30,109	89.8%	28,704	81.8%	▲4.7%	▲1,405
国内	25,904	77.3%	26,477	75.4%	2.2%	572
海外	4,205	12.5%	2,227	6.4%	▲47.0%	▲1,977
後発医薬品	969	2.9%	2,591	7.4%	167.4%	1,622
ヘルスケア	1,844	5.5%	3,298	9.4%	78.9%	1,454
その他	588	1.8%	499	1.4%	▲15.1%	▲88

< 適応範囲及び持分法の適用について >

連結子会社9社：杏林製薬(株)(株)杏文堂 (株)ビストナー
 ビストナー番号投資事業有限責任組合
 Kyorin USA,Inc Kyorin Europe GmbH
 ActivX Biosciences,Inc.
 東洋ファルマー(株)
 ドクタープログラム(株)
 持分法適用会社2社：日清キョーリン製薬(株)
 日本理化学薬品(株)

< 当期のポイント >

対前年

売上高	35,093百万円	(+1,582百万円)
国内新医薬品	26,477百万円	(+572百万円)
	05.9実績	06.9実績(億円)
・キプレス	61	69(+8)
・ムコダイン	85	89(+4)
・ペンタサ	36	40(+4)
海外新医薬品	2,227百万円	(-1,977百万円)
・ガチフロ	35	18(-17)
	*テクイン(BMS)販売中止	
後発医薬品	2,591百万円	(+1,622百万円)
	*東洋ファルマーのフル寄与(前年は2ヶ月のみ計上)	
ヘルスケア	3,298百万円	(+1,454百万円)
・ミルトン	1.1	1.0(-1)
	*東洋ファルマー、ドクタープログラムのフル寄与(前年は未計上)	
その他	499百万円	(-88百万円)

損益計算書の概要：連結 -

(単位：百万円)

	05年9月期		06年9月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	33,511	100.0%	35,093	100.0%	4.7%	1,582
売上原価	11,450	34.2%	14,513	41.4%	26.8%	3,063
売上総利益	22,061	65.8%	20,580	58.6%	▲6.7%	▲1,480
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	19,655 (6,001)	58.6% 17.9%	18,639 (3,982)	53.1% 11.3%	▲5.2% (▲33.6%)	▲1,015 (▲2,018)
営業利益	2,406	7.2%	1,940	5.5%	▲19.3%	▲465
営業外収益	451	1.3%	481	1.4%	6.7%	31
営業外費用	103	0.3%	361	1.0%	247.2%	258
経常利益	2,753	8.2%	2,061	5.9%	▲25.1%	▲692
特別利益	53	0.1%	149	0.4%	180.0%	96
特別損失	75	0.2%	450	1.3%	495.1%	374
税金等調整前 中間純利益	2,731	8.1%	1,760	5.0%	▲35.5%	▲970
法人税・住民税 及び事業税	104	0.3%	788	2.2%	654.3%	683
法人税等調整額	1,137	3.4%	144	0.4%	▲87.3%	▲992
少数株主損益	29	0.0%	▲6	▲0.0%	—	▲35
中間純利益	1,459	4.4%	833	2.4%	▲42.9%	▲625

< 当期のポイント >

原価率：前年比 7.2ポイント増加
(34.2% 41.4%)

* 上昇要因：杏林製薬の原価率上昇が主な理由
(薬価改定、能代新製剤工場の稼働に伴う
減価償却費の増加等)。
その他東洋ファルマの連結子会社化等

研究開発費率：前年比 6.6ポイント減少
(17.9% 11.3%)

* 60億円 40億円 (約20億円減少)：前年はプラス
効能追加の申請 (成人アレルギー性鼻炎) あり

販管費率 (除R&D費)：前年比 1.1ポイント上昇
(40.7% 41.8%)

* 上昇要因：杏林製薬の海外売上減少に伴う
販管費率の上昇。
ドクタープログラムの連結子会社化 (前年は未計上)

営業利益 1,940百万円
(465百万円)

* 営業利益率は5.5%と1.7ポイント低下

中間純利益 833百万円
(625百万円)

特別利益：149百万円、特別損失：450百万円

中間配当 10円00銭

貸借対照表の概要：連結

(単位:百万円)

	06年3月期		06年9月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	59,719	49.2%	57,380	48.7%	▲2,338
現金および預金	14,593		11,280		
受取手形及び売掛金	26,752		25,715		
有価証券	111		111		
棚卸資産	13,767		15,794		
その他流動資産	4,493		4,477		
固定資産	61,634	50.8%	60,534	51.3%	▲1,099
有形固定資産	21,363		21,097		
無形固定資産	5,720		4,855		
投資その他	34,550		34,581		
流動負債	18,367	15.1%	16,725	14.2%	▲1,641
支払手形及び買掛金	6,590		8,646		
その他流動負債	11,777		8,078		
固定負債	7,478	6.2%	6,196	5.2%	▲1,282
負債合計	25,845	21.3%	22,921	19.4%	▲2,923
株主資本	93,667	77.2%	92,962	78.8%	▲704
評価・換算差額等	1,223	1.0%	1,394	1.2%	170
少数株主持分	616	0.5%	636	0.6%	19
純資産合計	95,507	78.7%	94,993	80.6%	▲514
負債及び純資産合計	121,353	100.0%	117,915	100.0%	▲3,438

<当期のポイント>

■ 流動資産：2,338百万円減

- ・現金及び預金の減少 (3,312百万円減)
- ・受取手形及び売掛金の減少 (1,036百万円減)
- ・棚卸資産の増加 (2,026百万円増)

■ 固定資産：1,099百万円減

- ・有形固定資産の減少 (265百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (865百万円減)
- ・投資その他の増加 (30百万円増)

■ 流動負債：1,641百万円減

- ・支払手形及び買掛金の増加 (2,056百万円増)
- ・その他流動負債の減少 (3,698百万円減)

■ 固定負債：1,282百万円減

- ・その他の減少 (719百万円減)

研究開発費・設備投資・減価償却費の状況 < 連結 >

(単位:百万円)

	03年9月期	04年9月期	05年9月期	06年9月期		07年3月期 (予想)	07年3月期 (当初予想)
				実績	増減比		
研究開発費	3,577	5,972	6,001	3,982	▲33.6%	8,900	10,200
設備投資(計上ベース)	3,564	3,281	982	1,223	+24.5%	2,600	3,400
減価償却費	1,655	1,789	1,660	2,304	+38.8%	4,600	4,700

< 設備投資の状況 (実績 / 計画) >

	06年3月期	07年3月期	
	実績	中間実績	通期計画
(実績)			
能代新製剤工場建設投資、その他生産設備(各工場)	36億円		
管理・販売設備	3億円		
研究用設備	7億円		
(実績 / 計画)			
能代工場関連投資、その他生産設備		9億円	19億円
管理・販売設備		2億円	4億円
研究用設備		1億円	3億円

主要製品売上の状況



健康はキョーリンの願いです。

(単位: 億円)

	03年9月期	04年9月期	05年9月期	06年9月期		07年3月期 (予想)	07年3月期 (当初予想)	
				実績	前 同 比			
国内新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	43	52	61	69	12.3%	146	142
	ガチフロ(自社販売) (合成抗菌剤)	6	9	11	11	2.5%	26	30
	ムコダイン (去痰剤)	78	77	85	89	4.4%	210	209
	バクシダール (合成抗菌剤)	4	3	3	3	▲8.7%	5	5
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	35	32	32	29	▲8.0%	59	62
	アブレース (抗潰瘍剤)	15	13	12	10	▲13.1%	20	20
	ロカルトロール (骨粗鬆症治療剤)	14	12	11	10	▲11.7%	19	19
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	30	31	36	40	10.3%	80	79
海外新医薬品	海外売上合計	36	51	42	22	▲47.0%	49	49
	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	30	48	35	18	▲49.0%	33	25
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	6	2	2	2	1.9%	3	3
	海外売上比率	11.9%	16.7%	12.6%	6.3%	—	6.4%	6.5%
ヘルスケア	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	14	12	11	10	▲9.5%	20	22

開発品一覧

(2006年11月7日現在)



申請中

* : 前回(07年3月期第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
申請 (04年10月)	Ph I	KRP-197 (錠)	過活動膀胱 治療薬	自社	抗コリン作用が強く、口内乾燥等の副作用軽減が期待される	海外: LGLS社とライセンス契約 国内: 小野薬品工業と共同開発・共同販売(予定)
申請 (04年7月)	(メルク社 発売中)	キプレス細粒 4mg モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	小児(1歳~5歳)用の新規製剤	○ 剤形追加 ○ 新用量 ・万有製薬と共同開発
申請 (05年8月)	(メルク社 発売中)	キプレス錠 モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人: アレルギー性鼻炎 1日1回投与で、LTD4の遮断による鼻炎症状(鼻閉、鼻漏、くしゃみ)の改善と共に、眠気などの副作用軽減が期待できる	○ 効能追加 ・万有製薬と共同開発

開発品一覧

(2006年11月7日現在)



POCプロジェクト及びPh II ~ III

* : 前回(07年3月期第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
Ph III (04年1月)	(ガルデルマ社 発売中)	塩酸アモロルフィン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	自社	日本初のネイルラッカー製剤	* マルホとの共同開発 基本契約解消
Ph II / III (05年10月)	(メルク社 Ph III)	モンテルカスト (注射剤)	気管支喘息 治療剤	メルク社	成人: 気管支喘息 剤形追加(注射剤)	・万有製薬と共同開発
	Ph II (04年10月)	KRP-204 (N-5984) (錠)	抗肥満剤	日清製粉	選択性の高いβ3受容体作動薬。 従来のβ3作動薬に比べて心への影響が少なく、肥満を改善することが期待される	日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
Ph II (05年3月)	(大日本住友 Ph III)	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本 住友製 薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害を改善する	大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ)
	Ph II (04年6月)	KRP-101 (錠)	脂質代謝改善/ 糖尿病治療剤	自社	PPARαのagonist。中性脂肪等脂質代謝改善作用に加えて、糖尿病に対する有効性が期待される	
* Ph I (06年7月)	Ph I (06年3月)	KRP-104	糖尿病	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑えることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が少ない糖尿病治療が期待される	
	Ph I 準備中	KRP-203	臓器移植、 自己免疫疾患	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティス社とライセンス契約
	前臨床	KRP-105	脂質代謝改善	自社	選択性の高いPPARα agonist。KRP-101よりもさらにPPARα受容体に対して選択性が高い。脂質改善作用に加え、アディポネクチンの増加、レプチンの減少、体重増加抑制作用などが動物実験で確認されており、新たな脂質改善剤として期待される	

開発品一覧 (2006年11月7日現在)

導出品の状況

*: 前回(07年3月期第1四半期)からの変更点を示す

製品名・開発コード	導出先・共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
未定	米国 メルク社	—	合成抗菌剤	自社 米国メルク社	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究 独占的ライセンスに関する契約締結(04年7月)
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	国内Ph II (06年4月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	<ul style="list-style-type: none"> アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) 千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外Ph II (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	<ul style="list-style-type: none"> 多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における独占的な開発、製造販売権を供与(04年10月)
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外Ph II (気管支喘息: 05年1月) Ph II/III (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息 治療薬 間質性膀胱炎 治療薬	自社	<ul style="list-style-type: none"> 日本、中国、韓国、台湾を除く全世界における独占的な開発、販売権を供与
KRP-203	スイス ノバルティス社	海外Ph I 準備中	臓器移植、 自己免疫疾患	自社	<ul style="list-style-type: none"> 移植用の免疫調整剤として、全世界の開発及び販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤として、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の開発及び販売権(なお、炎症性腸疾患用剤としては、全世界の権利を留保している)を供与(06年2月)

主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)

	04年9月期	05年9月期	06年9月期	06年3月期	07年3月期 (予想)	07年3月期 (当初予想)
売上高 (海外売上高)	31,056 (5,172)	33,511 (4,206)	35,093 (2,246)	74,054 (8,593)	76,700 (4,900)	75,600 (4,900)
売上原価 (売上原価率)%	11,311 (36.4%)	11,450 (34.2%)	14,513 (41.4%)	26,515 (35.8%)		
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	18,149 (58.5%)	19,655 (58.6%)	18,639 (53.1%)	38,549 (52.1%)		
うち研究開発費 (研究開発費率)%	5,972 (19.2%)	6,001 (17.9%)	3,982 (11.3%)	10,107 (13.6%)	8,900 (11.6%)	10,200 (13.5%)
営業利益 (営業利益率)%	1,595 (5.1%)	2,406 (7.2%)	1,940 (5.5%)	8,989 (12.1%)	6,300 (8.2%)	5,700 (7.5%)
経常利益 (経常利益率)%	1,974 (6.4%)	2,753 (8.2%)	2,061 (5.9%)	9,465 (12.8%)	6,700 (8.7%)	6,400 (8.5%)
中間純利益 (中間純利益率)%	1,307 (4.2%)	1,459 (4.4%)	833 (2.4%)	5,228 (7.1%)	3,600 (4.7%)	3,500 (4.6%)
一株当たり当期利益(円)	17.59円	19.65円	11.21円	69.74円	48.41円	47.07円
資本金	4,317	4,317	700	4,317		
総資産	118,558	116,566	117,915	121,044		
株主資本	91,460	91,483	-	94,752		
純資産	-	-	94,993	-		
一株当たり純資産(円)	1,230.45円	1,231.80円	1,268.91円	1,275.15円		
自己資本利益率%	1.4%	1.6%	0.9%	5.6%		
自己資本比率%	77.1%	78.5%	80.0%	78.3%		
人員(人)	1,700	1,947	1,927	1,823人		
設備投資	3,281	982	1,223	4,605	2,600	3,400
減価償却費	1,794	1,660	2,304	3,646	4,600	4,700

* 02年3月期から06年3月期までの業績は杏林製薬の数値、06年9月中間期業績及び07年3月期業績の予想は株式会社キョーリンの数値を示す

損益計算書の概要：杏林製薬単体①



(単位：百万円)

	05年9月期		06年9月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	31,609	100.0%	30,268	100.0%	▲4.2%	▲1,341
新医薬品	29,948	94.7%	28,700	94.8%	▲4.2%	▲1,247
国内	25,904	81.9%	26,477	87.5%	2.2%	572
海外	4,043	12.8%	2,223	7.3%	▲45.0%	▲1,820
後発医薬品	175	0.6%	191	0.6%	9.2%	16
ヘルスケア	1,486	4.7%	1,376	4.5%	▲7.4%	▲109

< 当期のポイント >

	対前年
売上高	30,268百万円 (1,341百万円)
国内新医薬品	26,477百万円 (+572百万円)
	05.9実績 06.9実績 (億円)
・キプレス	61 69 (+8)
・ムコダイン	85 89 (+4)
・ペンタサ	36 40 (+4)
海外新医薬品	2,223百万円 (1,820百万円)
・ガチフロ	35 18 (-17)
* テクイン (BMS) 販売中止	
後発医薬品	191百万円 (+16百万円)
ヘルスケア	1,376百万円 (109百万円)
・ミルトン	11 10 (-1)

損益計算書の概要：杏林製薬単体②

(単位：百万円)

	05年9月期		06年9月期			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	31,609	100.0%	30,268	100.0%	▲4.2%	▲1,341
売上原価	10,100	32.0%	11,385	37.6%	12.7%	1,285
売上総利益	21,509	68.0%	18,882	62.4%	▲12.2%	▲2,626
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	19,282 (5,979)	61.0% 18.9%	17,110 (3,808)	56.5% 12.6%	▲11.3% (▲36.3%)	▲2,172 (▲2,170)
営業利益	2,226	7.0%	1,772	5.9%	▲20.4%	▲454
営業外収益	328	1.1%	452	1.5%	37.8%	124
営業外費用	177	0.6%	558	1.9%	215.3%	381
経常利益	2,378	7.5%	1,666	5.5%	▲29.9%	▲711
特別利益	32	0.1%	139	0.4%	329.6%	106
特別損失	75	0.2%	42	0.1%	▲43.4%	▲32
税引前中間純利益	2,335	7.4%	1,762	5.8%	▲24.5%	▲572
法人税・住民税 及び事業税	35	0.1%	578	1.9%	1,515.7%	543
法人税等調整額	1,121	3.6%	230	0.7%	▲79.5%	▲891
中間純利益	1,178	3.7%	953	3.2%	▲19.1%	▲224

< 当期のポイント >

原価率：前年比 5.6ポイント上昇
(32.0% 37.6%)

* 上昇要因：薬価改定、能代新製剤工場の稼働に伴う減価償却費の増加等

研究開発費率：前年比 6.3ポイント減少
(18.9% 12.6%)

* 60億円 38億円 (約22億円減少)

販管費率(除R&D費)：前年比1.8ポイント上昇
(42.1% 43.9%)

* 海外売上減少に伴う販管費率の上昇

営業利益 1,772百万円
(454百万円)

* 営業利益率は5.9%と1.1ポイント低下

中間純利益 953百万円
(224百万円)

特別利益：139百万円、特別損失：42百万円

貸借対照表の概要：杏林製薬単体

(単位:百万円)

	06年3月期		06年9月期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
流動資産	50,721	45.3%	47,088	43.5%	▲3,633
現金および預金	10,754		6,540		
売掛金	23,862		22,659		
棚卸資産	12,108		13,836		
その他流動資産	3,995		4,050		
固定資産	61,256	54.7%	61,164	56.5%	▲92
有形固定資産	18,636		18,274		
無形固定資産	4,552		3,777		
投資その他	38,068		39,112		
流動負債	13,677	12.2%	12,046	11.1%	▲1,631
支払手形	1,224		1,413		
買掛金	2,803		4,544		
その他流動負債	9,649		6,088		
固定負債	5,774	5.2%	4,729	4.4%	▲1,045
負債合計	19,452	17.4%	16,775	15.5%	▲2,677
株主資本	91,456	81.7%	90,211	83.3%	▲1,245
評価・換算差額等	1,068	0.9%	1,265	1.2%	196
純資産合計	92,525	82.6%	91,476	84.5%	▲1,048
負債及び純資産合計	111,978	100.0%	108,252	100.0%	▲3,725

<当期のポイント>

■ 流動資産: 3,633百万円減

- ・現金及び預金の減少 (4,214百万円減)
- ・売掛金の減少 (1,202百万円減)
- ・棚卸資産の増加 (1,728百万円増)

■ 固定資産: 92百万円減

- ・有形固定資産の減少 (361百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (775百万円減)
- ・投資その他の増加 (1,044百万円増)

■ 流動負債: 1,631百万円減

- ・支払手形の増加 (188百万円増)
- ・買掛金の増加 (1,740百万円増)
- ・その他流動負債の減少 (3,561百万円減)

■ 固定負債: 1,045百万円減

主な業績項目の推移: 杏林製薬単体

	03年9月期	04年9月期	05年9月期	06年9月期	06年3月期	07年3月期 (予想)	07年3月期 (当初予想)
売上高 (輸出高)	30,137 (3,672)	30,423 (5,172)	31,609 (4,043)	30,268 (2,223)	67,357 (8,331)	65,400 (4,600)	64,500 (4,600)
売上原価 (売上原価率)%	9,899 (32.8%)	10,830 (35.6%)	10,100 (32.0%)	11,385 (37.6%)	21,821 (32.4%)		
販売費及び一般管理費 (販管費率)%	16,854 (55.9%)	17,999 (59.2%)	19,282 (61.0%)	17,110 (56.5%)	36,762 (54.6%)		
うち研究開発費 (研究開発費率)%	3,577 (11.9%)	5,972 (19.6%)	5,979 (18.9%)	3,808 (12.6%)	10,013 (14.9%)	8,400 (12.8%)	9,800 (15.2%)
営業利益 (営業利益率)%	3,383 (11.3%)	1,593 (5.2%)	2,226 (7.0%)	1,772 (5.9%)	8,773 (13.0%)	5,700 (8.7%)	5,400 (8.4%)
経常利益 (経常利益率)%	3,291 (11.0%)	1,790 (5.9%)	2,378 (7.5%)	1,666 (5.5%)	8,377 (12.4%)	5,800 (8.9%)	5,800 (9.0%)
中間純利益 (中間純利益率)%	4,614 (15.3%)	1,114 (3.7%)	1,178 (3.7%)	953 (3.2%)	4,771 (7.0%)	3,500 (5.4%)	3,100 (4.8%)
一株当たり当期利益(円)	53.60円	14.99円	15.86円	12.84円	63.64円	47.13円	41.74円
資本金	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317	4,317
総資産	137,391	116,652	107,014	108,252	111,978		
株主資本	108,337	89,957	89,516	-	92,525		
純資産	-	-	-	91,476	-		
一株当たり純資産(円)	1,258.43円	1,210.17円	1,205.25円	1,231.71円	1,245.22円		
自己資本利益率%	4.3%	1.2%	1.3%	1.0%	5.3%		
自己資本比率%	78.9%	77.1%	83.6%	84.5%	82.6%		
人員(人)	1,717	1,646	1,633	1,524	1,502人		
設備投資	3,564	3,281	962	967	4,455	1,500	1,800
減価償却費	1,655	1,789	1,553	2,074	3,307	4,200	4,300

(単位:百万円)

参考資料：主な子会社の業績（上期）

単位：億円

杏林製薬	05年度上期	06年度上期
売上高	316	303
営業利益	22	18
当期純利益	12	10

東洋ファルマー	05年度上期	06年度上期
売上高	12	32
営業利益	2	0
当期純利益	1	0

ドクタープログラム	05年度上期	06年度上期
売上高	—	12
営業利益	—	1
当期純利益	—	1

参考：昨年度におけるグループ企業の連結対象期間

		05年度上期
東洋ファルマー	P/L	6～7月（2ヶ月分）
	B/S	
ドクタープログラム	P/L	なし
	B/S	

参考資料：主な子会社の業績と予想

単位：億円

杏林製薬	06年3月期	07年3月期(予想)	07年3月期(当初予想)
売上高	674	654	645
営業利益	88	57	54
当期純利益	48	35	31

東洋ファルマー	06年1月期(8ヶ月分)	07年1月期(予想)	07年1月期(当初予想)
売上高	44	73	72
営業利益	3	2	2
当期純利益	2	0	1

ドクタープログラム	06年1月期(7ヶ月分)	07年1月期(予想)	07年1月期(当初予想)
売上高	8	25	21
営業利益	0	3	1
当期純利益	0	1	0

参考：昨年度におけるグループ企業の連結対象期間

		05年度上期	05年度下期
東洋ファルマー	P/L	6～7月(2ヶ月分)	8～1月(6ヶ月分)
	B/S		
ドクタープログラム	P/L	なし	7～1月(7ヶ月分)
	B/S		